

事務事業名		梶橋架替補強検討業務					<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	04 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり					所属課	建設水道課	担当	建設担当	
	施策名	04 快適な道路と公共交通網の整備					課長名	斎藤 久雄	担当者名	斎藤 修治	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等			
		1	0	7	0	2	0	3	0	1	
		橋梁維持費					道路法				
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (25 年度～ 27 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 町道玉生梶橋線(旧461号)玉生地内の荒川に架かる梶橋は、昭和15年架設され、架設後70年以上経過する老朽橋であり、平成23年度に実施した橋梁の調査点検の結果から、損傷が大きく早急に対応が必要との結果が出されています。また、下流側には側道橋(昭和53年架設)がありますが、現行基準活荷重に適用外であります。したがって、対応策を検討するため、道路橋梁及び側道橋の状況を詳細に点検し、架替か補強か等の対応方針の検討を行い、その結果に基づき補強なり、掛替なりの設計業務を行い、対応工事を行うものである。 なお、当業務は橋梁長寿命化修繕計画に基づく事業であるため、社会資本整備総合交付金事業(補助率0.55)にて行う事業です。</p> <p>2 概算事業費(うち国費 55%) 架替補強検討業務 6,500千円<<H25予定>> 架替が必要となった場合(別途、詳細設計業務として、12,000千円)<<H26予定>> 工事費 補修の場合 30,000~50,000千円<<H27予定>> 掛替の場合 200,000千円~<<H27予定>></p>									

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)		名称	
車道橋 L=42.3m、W=6.6m		ア	橋梁数
側道橋 L=46.0m、W=2.6m		イ	
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)		名称	
橋梁		ア	橋梁数
		イ	
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)		名称	
橋梁の安全性を確保する。		ア	対応橋梁数
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 橋		2	2	2		
	イ	実績値 橋						
対象指標	ア	目標値 橋		2	2	2		
	イ	実績値 橋						
成果指標	ア	目標値 橋		2	2	2		
	イ	実績値 橋						

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度	
事業費 投入費	国庫支出金	千円		3,575	6,600	82,500		
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		2,925	5,400	67,500		
	事業費計(A)	千円	0	6,500	12,000	150,000	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2		
	延べ業務時間	時間		50	50	100		
	人件費計(B)	千円	0	200	200	400	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	6,700	12,200	150,400	0	0

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入費	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町道橋であり町で管理すべきものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	点検結果から早急に対応が必要と判断されており、事故等あれば人命にかかわることであり、先延ばしは出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	長寿命化修繕計画策定業務に基づく事業であり、国庫補助対象事業になるため、コストは抑えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町道橋であるため、問題はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 24 年 11 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 架替補強検討業務6,500千円について、検討業務は事業上必要なものかを確認の上、実施すること (既に相当の年数が経っていることから、補強検討ではなく、直接基本設計に入るべきではないか) (後日の担当者の話)補強ではなく、架替が必要と判断されても、詳細設計に入る前に必要な業務である。	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--------------------------------------------	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業